

世界日報 H22.10.19



「事故教訓に再チャレンジを」

世日クラブで藤家洋一氏講演

世界日報の愛読者でつくる世日クラブ（会長＝近藤譲良・近藤プランニングス代表取締役）の第139回定期講演会が18日、都内で開かれ、前内閣府原子力委員会委員長で東京工業大名誉教授の藤家洋一氏が「日本

は原子力選択の原点に戻れ」と題して講演した（写真）。

藤家氏は、福島原発事故後のわが国の原子力のあり方の議論について「世界はもう今日か明日しかないというような短絡的な視点の議論に埋没して、自らが今

後の文明を先頭に立って構築しようとする気概が見えない。残念なことだ」と強調した。

また同氏は、一般の人たちの安全問題について「広島大学、長崎大学を中心とした原爆医療研究所の先生らが、これまでのデータをもとに『それほど心配する必要はありません』と語っている。私もそうだと思う」と話した。

講演会で、同クラブの近

藤会長は「原子力が日本に入ってきたのは、平和利用のためであり、その方向性は今後も変わらない。世界一の技術立国となるようチャレンジしていくべきだ」とあいさつした。



「事故教訓に再チャレンジを」

世日クラブで藤家洋一氏講演

世界日報の愛読者でつくる世日クラブ（会長＝近藤譲良・近藤プランニングス代表取締役）の第139回定期講演会が18日、都内で開かれ、前内閣府原子力委員会委員長で東京工業大名誉教授の藤家洋一氏が「日本

は原子力選択の原点に戻れ」と題して講演した（写真）。

藤家氏は、福島原発事故後のわが国の原子力のあり方の議論について「世界はもう今日か明日しかないというような短絡的な視点の議論に埋没して、自らが今

後の文明を先頭に立って構築しようとする気概が見えない。残念なことだ」と強調した。

また同氏は、一般の人たちの安全問題について「広島大学、長崎大学を中心とした原爆医療研究所の先生らが、これまでのデータをもとに『それほど心配する必要はありません』と語っている。私もそうだと思う」と話した。

藤会長は「原子力が日本に入ってきたのは、平和利用のためであり、その方向性は今後も変わらない。世界一の技術立国となるようチャレンジしていくべきだ」とあいさつした。

講演会で、同クラブの近